

◆◆◆ 梅雨前線による大雨 平成 22 年(2010 年)7 月 10 日～7 月 16 日

7 月 10 日から 16 日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かって南から非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となり、西日本から東日本にかけて大雨となりました。

この期間の雨量は、佐賀県佐賀市北山(ホザン)で 613.5 ミリと 600 ミリを超えたほか、福岡県、佐賀県、長崎県、山口県、広島県、高知県、岐阜県、長野県で 500 ミリを超えました。福岡県北九州市小倉南区頂吉(カゲメシ)や広島県呉市呉(クル)など多くの地点で 7 月の月降水量平年値を上回りました。

24 時間雨量では、岐阜県加茂郡八百津町伽藍(ガラン)で 15 日 23 時 30 分までに観測史上 1 位となる 239.0 ミリとなったほか、広島県、島根県、福岡県でも観測史上 1 位を更新した地点がありました。

また、1 時間雨量では、徳島県海部郡美波町日和佐(ヒワ)で 13 日 19 時 23 分までに 108.5 ミリ、岐阜県多治見市多治見(タジミ)で 15 日 19 時 12 分までに 83.5 ミリの猛烈な雨が降り観測史上 1 位を更新したほか、広島県庄原市庄原(ショウバラ)では 16 日 17 時 43 分までに観測史上 1 位を更新する 64.0 ミリとなるなど、西日本から東日本の広い範囲で非常に激しい雨が降りました。

この大雨により広島県・島根県・岐阜県において死者・行方不明者が 14 名にのぼりました。また、九州北部地方、中国地方、東海地方などを中心に各地で浸水害や土砂災害が発生しました。その他、停電、断水が発生し、交通機関にも影響が出ました。(被害の状況は総務省消防庁などによる(平成 22 年 7 月 20 日 14 時現在))

※これは速報値であり、数値等は変わることがあります。

(気象庁ホームページから)